

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ⑥まちづくり等分野(3/3)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 (千葉県柏市)	3.8	4.4 <u>進捗度</u> ・各主体の参画による活動の活性化 104% ・新ビジネス創造と地域経済の活性化 102% ・AEMSを活用した環境配慮型都市の確立 178% ・先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築 66% ・虚弱予防活動の展開 72%	3.4 <u>規制の特例等</u> ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 ・歯科衛生士等居宅療養管理指導推進事業等 <u>地域独自の取組</u> ・事業推進に向けたプロジェクト連携会議の開催等	3.7	・各主体の参画による活動は、それぞれの分野で取り組まれている状況が確認できた。また、エネルギー関連の事業も進行していると思われる。 ・ヘルスケア関連の取組については、コロナの影響により見通しがつかない部分もあるだろうが、制約があるなかでいかに取り組んでいけるか今後も検討と実践も継続してほしい。 ・まちづくり分野との関連が強い都市経営分野では目標値を上回る成果を達成しており、柏の葉スマートシティ事業への展開も加速していることから、今後のさらなる進展が大いに期待できる。 ・しかしながら、目標値を達成している数値目標の中に、前年度と比べて減少に転じているものがある。新型コロナウイルスの影響も一因と推察され、コロナ禍での取り組み継続に向けた一層の工夫が求められる。 ・ベンチャー支援や環境分野でも進捗がみられるが、ライフイノベーション分野での進捗を測れない状態が続いている。定量化できない取り組みの積み重ねが、最終年度での目標達成に結びつくよう今後の取り組みを期待したい。 ・本件は公民学連携による柏の葉プロジェクトの一部として機能しており、一部に目標達成しえない項目があるものの、全体として十分に機能していると考えられる。